

大阪大学中之島センター（ONC）
森村泰昌氏によるアートプロジェクト 『適塾の集い』
作品出演者募集要項

大阪大学中之島センター（ONC）のリニューアルに伴い、大阪大学の「顔」となるような作品設置を目的に、特任教授であり日本を代表する現代美術家の森村泰昌氏による【アートプロジェクト『適塾の集い』】が始動しました。

作品テーマは「適塾と緒方洪庵」です。適塾という幕末の世界～今、何かを学ぼうとしている学生たち～次世代を担う子どもたち、といった、過去・現在・未来のつながりが（レンブラントの絵画『トウルプ博士の解剖学講義』のイメージを踏襲しつつ）1つの画面に縮図として感じられる作品を創作し、ONCの壁面に展示されます。

そこで、作品に登場する7名の適塾塾生役を募集します。

ゴッホ、アインシュタイン、マリリン・モンロー等々の美術史や歴史的人物や女優などに自らが扮装する「自画像的作品」を一貫したテーマにしてきた森村作品とは異なり、他者が登場する本作は極めて稀な森村作品となります。そして何より学問・文化の重要な拠点であり大阪大学の原点でもあるという適塾の歴史性に着目した記念すべき作品でもあると言えます。緒方洪庵、そして大村益次郎、福沢諭吉、長与専斎などの塾生の志と功績を受け継ぎながら、かつての適塾に大阪大学の現在の学び手達の姿を融合させる。そんな本作への出演というまたとない機会に、ふるっての御応募お待ちしております。



（森村泰昌作：完成予想のラフスケッチ）

【応募内容】

適塾塾生 7 名（下記）役となる大阪大学の在学学生 7 名

※本作は【現代における適塾】をテーマしており、森村スタッフによる衣装・メイク等の扮装で役を仕立てて撮影いたします。性別、国籍、演技経験等是不問です。

※メール調整連絡や 12 月のリハーサルと撮影日の参加を確約できる方に限ります。

※薄謝交通費等込みで 1 万円です。

※森村作品参加、及び、制作過程の記録やマスコミ取材等に関する同意書をご用意しますので、予め、ご了承ください。

【適塾塾生 7 名について】

- 1) 大村益次郎（技術者 制度改革者）
- 2) 福沢諭吉（教育者 ジャーナリスト 経済学者 オピニオンリーダー）
- 3) 橋本左内（政治思想家 政治活動家）
- 4) 長与専斎（医学 官僚＜衛生医療＞）
- 5) 佐野常民（医学 科学技術者 社会事業家 文化・芸術の支援者）
- 6) 高松凌雲（医学 社会事業家）
- 7) 手塚良庵（＜子孫が＞漫画、アニメ、あるいは芸術、表現者）

予備候補案＝大鳥圭介（官僚＜産業＞）、花房義質（外交官）

※ 緒方洪庵と適塾、各塾生については以下の URL を参照ください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/event/2022/12/9wu5n2>

【応募方法】

下記必要事項をご記入・添付のうえ、以下の宛先に、件名「森村泰昌 ONC 作品出演者公募」としてメールをお送りください。

- ・ 名前
- ・ 所属研究科、学年、専門テーマ等
- ・ 電話番号とメールアドレス
- ・ 応募動機や自己 PR 300 文字以内 ※希望する塾生がある場合はその旨も含む。
- ・ 顔写真

【応募先】

oncmorimura@tekijuku.osaka-u.ac.jp

（担当教員：松永和浩 適塾記念センター、木ノ下智恵子 21 世紀懐徳堂）

【募集〆切】 11 月 30 日（水）

【主なスケジュール等】

- ・ 募集〆切 11 月 30 日（水）
 - ・ 結果通知 12 月 5 日頃 森村泰昌による選考の上、採用者のみにメールにて通知します。
 - ・ リハーサル 12 月 ~~19~~ 日（月）18 時 30 分（90 分程度）場所は適塾 →12 日(月)に変更
 - ・ 本番撮影 12 月 26 日（月）午前 10 時～午後 5 時 場所は適塾
- ※上記以外にメールで個別に事前調整の連絡対応があります。
- ・ 完成設置予定 2023 年 4 月予定

【森村泰昌プロフィール】



Morimura Yasumasa Self-Portraits through Art History(Caravaggio/Who is Matthew?)2016

1951 年、大阪市生まれ。1985 年、ゴッホに扮したセルフポートレート写真でデビューして以降、国内外で作品を発表。2014 年、ヨコハマトリエンナーレのアーティスティックディレクターを務める。近年の個展に「森村泰昌：自画像の美術史——『私』と『わたし』が会うとき」（国立国際美術館、2016 年）、「Yasumasa Morimura. The history of the self-portrait」（プーシキン美術館 モスクワ 2017）、「YASUMASA MORIMURA: EGO OBSCURA」（Japan Society N.Y. 2018）、「森村泰昌：エゴオブスクラ東京 2020——さまよえるニッポンの私」（原美術館、2020 年）「M 式『海の幸』——森村泰昌 ワタシガタリの神話」（アーティゾン美術館、2021 年）、「森村泰昌『ワタシの迷宮劇場』（京都市京セラ美術館 2022 年）。今年 2022 年、人形浄瑠璃文楽の桐竹勘十郎との共演で、「人間浄瑠璃 新・鏡影奇譚」を上演。2018 年、大阪・北加賀屋に「モリムラ@ミュージアム」が開館。著書に、『自画像のゆくえ』（光文社新書）ほか多数。